



みんなで作えよう
平和と人権
(人権文芸コンクール出品作品)

2014 カンヌ国際映画祭
正式出品作品

第60回 ふれ愛シネサロン

奇跡の教室

受け継ぐ者たちへ

字幕
吹替版(13:30~)



一人の教師のオウシュビッツに関する

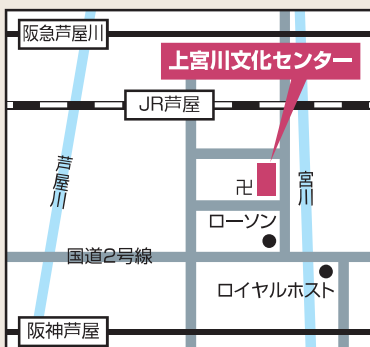
“ある授業”が、落ちこぼれたたちの人生を変える——。

■監督・製作：マリー・カスティュー・マンシオン・シャル ■脚本：アハメッド・ドゥラメ/マリー・カスティュー・マンシオン・シャル

■出演：アリアヌ・アスカリッド/アハメッド・ドゥラメ ほか

2014年/フランス/フランス語/105分/DCP/2.35/ドルビー 配給：シンカ

©2014 LOMA NASHA FILMS - VENDREDI FILM - TF1 DROITS AUDIOVISUELS - UGC IMAGES-FRANCE 2 CINEMA - ORANGE STUDIO



●上映時間● **平成29年8月5日(土)**〈2回上映・30分前開場〉

①10:00~11:50 (字幕) ②13:30~15:20 (吹替版・字幕)

●会場● **上宮川文化センター 3階ホール**

芦屋市上宮川町10番5号 [駐車場はありません]

●問い合わせ● **人権推進課 電話0797 (38) 2055**

●主催● **芦屋市・芦屋市教育委員会**

入場料
無料
定員当日先着
各回150人



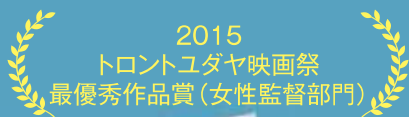
あなた達を信じているのは私だけ？皆なら、このテーマを語れるはず
**2011年『最強のふたり』——、1995年『陽のあたる教室』——、
 実話から生まれた魂を揺さぶる感動作**



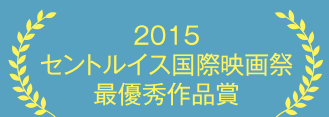
学校から見放された問題児クラスと、
 ベテラン教師アンヌの情熱。
 パリ郊外の高校で本当に起こった
 奇跡のストーリー。

貧困層が暮らすパリ郊外のレオン・ブルム高校の新学期。様々な人種の生徒たちが集められた落ちこぼれクラスに、厳格な歴史教師アンヌ・ゲゲンが赴任してくる。情熱的なアンヌ先生は、生徒たちを全国歴史コンクールに参加するように促すが、「アウシュヴィッツ」という難しいテーマに彼らは反発する。ある日、アンヌ先生は強制収容所の生存者を授業に招待する。生き証人の悲惨な状況を知った生徒たちは、この日を境に変わっていく——。

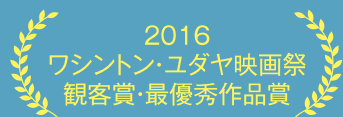
当時18歳だった「落ちこぼれクラスの元生徒」が自身の体験を元に、マリー・カスティエウ・マンシオン・シャル監督と脚本を共同執筆し、出演もした実話に基づく奇跡のストーリー。主演のアンヌ先生を演じるセザール賞主演女優賞の名女優アリアヌ・アスカリッドの迫真の演技が、観る者の胸を熱くする感動の物語。



2015
 トロントユダヤ映画祭
 最優秀作品賞(女性監督部門)



2015
 セントレイス国際映画祭
 最優秀作品賞



2016
 ワシントン・ユダヤ映画祭
 観客賞・最優秀作品賞

**ヨーロッパの
 メディアが大絶賛!**

この映画を観ると、フランスとフランスの若者と国の将来を信じたくなる。気難しい国で、私たちの心と魂を元気にしてくれる。

★★★★『エル・シネマ』審査員

受け持ちの勉強嫌いのクラスを全国歴史コンクールに参加させ、それまで彼らに欠けていた自信と学ぶ喜びをいっぺんに与え、最優秀賞にまで導いた。その美しい物語から、美しい映画が生まれた。

★★★★『ガラ』誌

魂が震える感動が詰まった、必要な映画だ。

★★★★『エル』誌

素晴らしく、忘れがたい瞬間がある。

★★★★『フィガロ・マガジン』誌

元気が出る映画!

★★★★『フィガロ・マダム』誌

胸を打つ型破りな映画!

★★★★『グラツィア』誌

愛情と信頼に包まれたこの冒険に、心揺さぶられる。

★★★★『フェミナ』誌